

SAGA PREF.

Investor Relations Presentation

October 2020

施策体系別の本県の取組（P9～P22）

佐賀県では総合計画2019に基づき、SDGsを意識した施策に取り組んでいます。



1. 安心・安全の暮らしさが

新型コロナウイルス感染症対策【P.9】



2. 楽しい子育てあふれる人財さが

子育てし大県”さが”プロジェクトの推進【P.21】



3. 人・社会・自然が結び合う生活さが

OPEN—AIR佐賀の取組【P.12】



4. 豊かさ好循環の産業さが

稼げる農業の確立【P.15】

企業誘致の推進【P.16】

DX・スタートアップの支援促進【P.17】



5. 文化スポーツ・観光の交流拠点さが

新しい観光スタイルへ向けて【P.14】

SAGAサンライズパークの整備【P.18】

SAGAスポーツプラザ構想の推進【P.19】

国民スポーツ大会「SAGA2024」の開催【P.20】



6. 自発の地域づくりさが

九州佐賀国際空港の取組【P.13】

移住の促進【P.22】



【INDEX】 目次

1. 本県の概要

本県の概要	P.1
-------	-----

2. 本県の財政上の特徴

本県の財政上の特徴	P.3
健全化判断比率の全国的なポジション	P.4

3. 県債の状況

資金調達の推移	P.5
県債残高の推移	P.6

4. 行財政運営計画

行財政運営計画2015の総括	P.7
行財政運営計画2019	P.8

5. 本県の取組

新型コロナウイルス感染症対策	P.9
----------------	-----

OPEN-AIR佐賀の取組	P.12
九州佐賀国際空港の取組	P.13
新しい観光スタイルへ向けて	P.14
稼げる農業の確立	P.15
企業誘致の推進	P.16
DX・スタートアップの支援促進	P.17
SAGAサンライズパークの整備	P.18
SAGAスポーツピラミッド構想の推進	P.19
国民スポーツ大会「SAGA2024」開催	P.20
子育てし大県“さが”プロジェクトの推進	P.21
移住の促進	P.22

6. 本県市場公募債について

発行概要等	P.23
-------	------

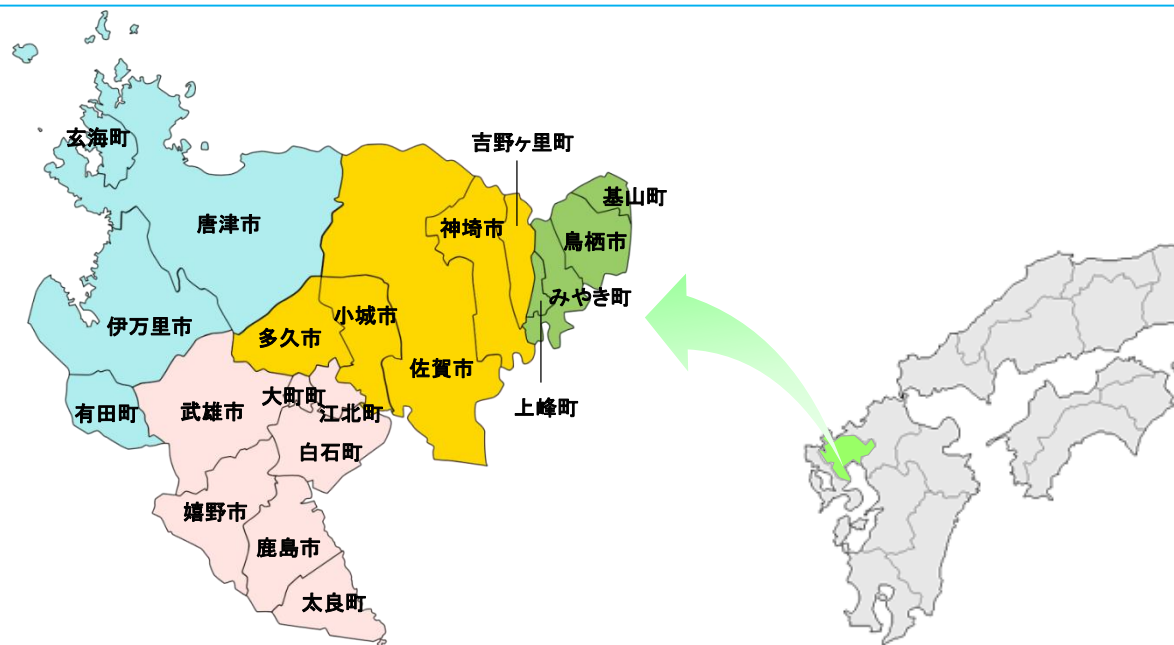
7. 資料編

決算・予算の概要、各種財政指標等	P.24～
------------------	-------

1

本県の概要

本県の概要



人口

81万5千人
【令和元年／全国第41位】

面積

2,441km²
【令和2年／全国第42位】

市町

10市10町

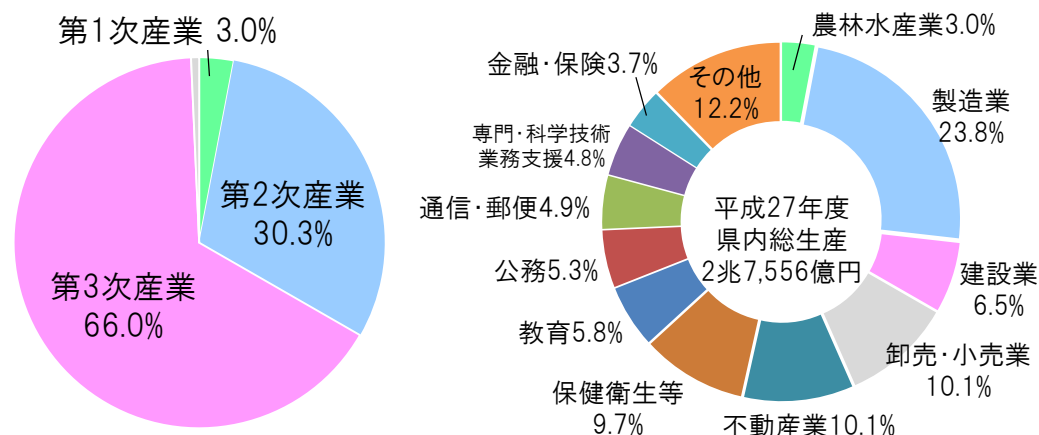
県内総生産
(名目)

2兆9,452億円
【平成29年度／全国第44位】

1人あたり
県民所得

2,630千円
【平成29年度／全国第38位】

経済活動別 県内総生産



本県の 全国No.1

- 板のり収穫量 18億1,703万枚【全国シェア24.9%】
- ハウスみかん収穫量 6,590t【全国シェア36.0%】
- このしろ生産額 1億9,400万円【全国シェア24.6%】
- シリコンウエハ出荷額 1,232億円【全国シェア25.9%】
(表面研磨したもの)
- 普通教室の電子黒板整備率 94.6%【全国平均52.2%】

本県の概要

空 港

本県は、九州の北西部に位置し、アジア大陸と近い距離にあります。

九州佐賀国際空港から、国際線として、上海便、台北便が運航しており、令和元年10月には西安便が就航し、九州におけるゲートウェイ空港としての地位を確立することを目指しています。

鉄 道

長崎本線と鹿児島本線が通るほか、平成23年の九州新幹線鹿児島ルートの開業により、本州及び九州内の主要都市への移動がスムーズになっています。

新幹線 (最速) 新鳥栖⇄	博多	12分
	鹿児島中央	1時間11分
	広島	1時間18分
	新大阪	2時間47分

※山陽・九州直通新幹線「さくら」利用の場合

高速道路

九州を南北に走る九州自動車道と、東西に走る長崎・大分自動車道のクロスポイント「鳥栖JCT」を有し、福岡県、長崎県、熊本県は1時間圏内、九州全域、中国地方は3時間圏内です。

	佐賀市	鳥栖市
福岡市	約60分	約40分
長崎市	約90分	約90分
熊本市	約100分	約80分
大分市	約130分	約100分
鹿児島市	約210分	約190分

※平成30年7月現在 高速道路利用



※1 運航見合せ中(～2020年11月30日)

※2 運航見合わせ中(～2020年12月31日)

※3 運航見合わせ中(～2020年11月30日)

2

本県の財政上の特徴

本県の財政上の特徴

地方公共団体の財政力を示す財政力指数は平均より低い

H29	H30	R元	備考
0.348 (0.502)	0.346 (0.503)	0.350	()は東京都を 除く道府県平均

その中で、堅実な財政運営を行っている結果

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は
都道府県中 第14位(H30) (単位:%)

H 29	H 30	R元	備考
93.3(96.3)	93.5(95.7)	94.8	()は東京都を 除く道府県平均

臨時財政対策債(以下「臨財債」)除く県債残高は
4,000億円前後で推移(ピーク:5,644億円(H13)) (単位:億円)

H29	H30	R元
3,852	3,833	3,914

地方債の償還期間を20年とし、将来世代の負担が過度に
ならないようコントロールすることなどにより、将来負担比率は
都道府県中 第7位(R元) (単位:%)

H 29	H 30	R元	備考
112.2(201.1)	111.6(173.6)	115.0	()は東京都を 除く道府県平均

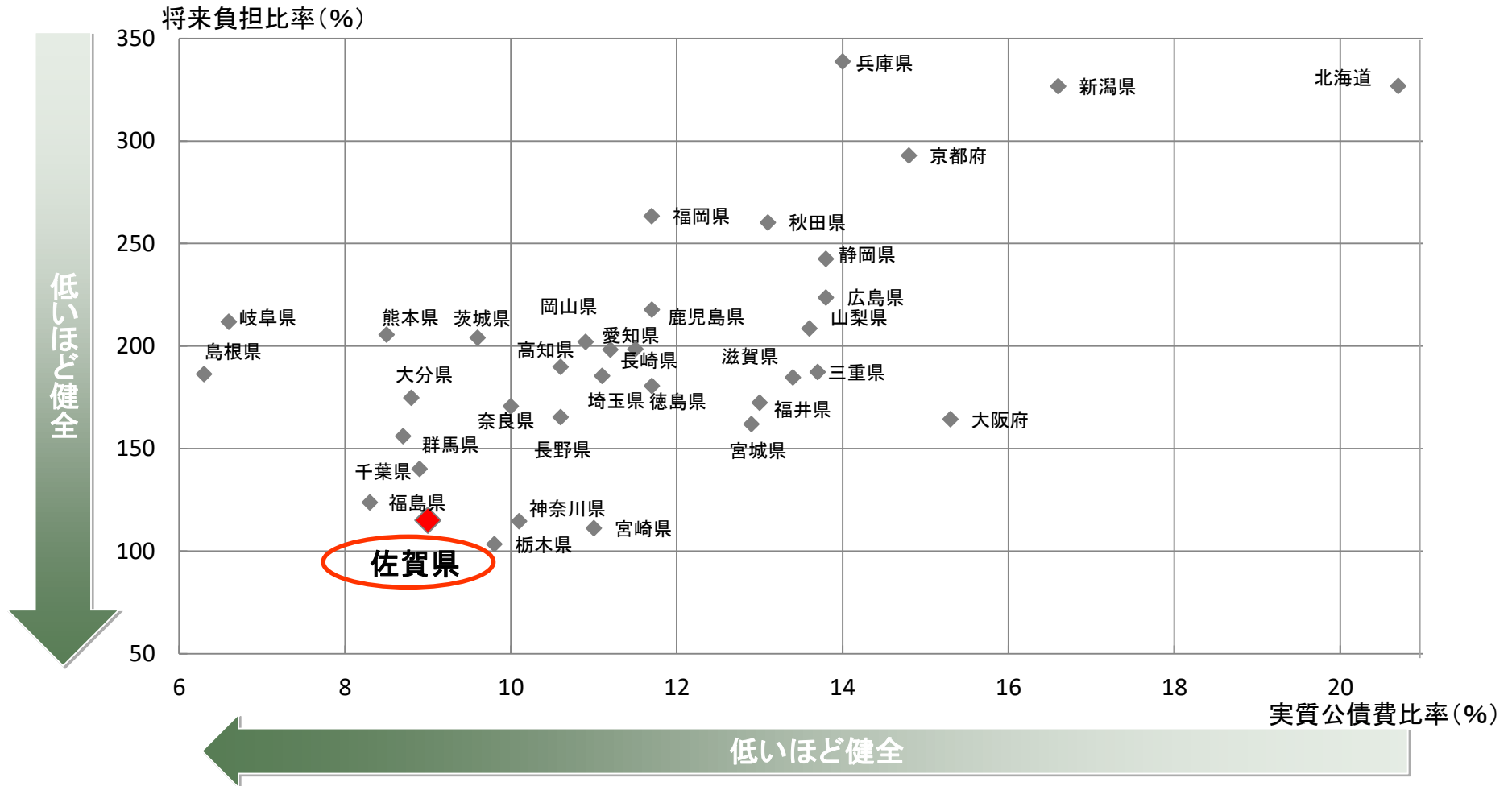
臨財債除くプライマリーバランスは、黒字基調。
なお、R元年度は大型事業等の影響により赤字。
(臨在債含むPBは平成25年度以降黒字) (単位:億円)

	H 29	H 30	R元
臨財債除く	78	40	△63
臨財債含む	108	93	42

健全な財政状況を確保

健全化判断比率の全国的なポジション(令和元年度決算)

本県は全国型市場公募地方債を発行している道府県35団体の中でも、健全な財政状況となっています。

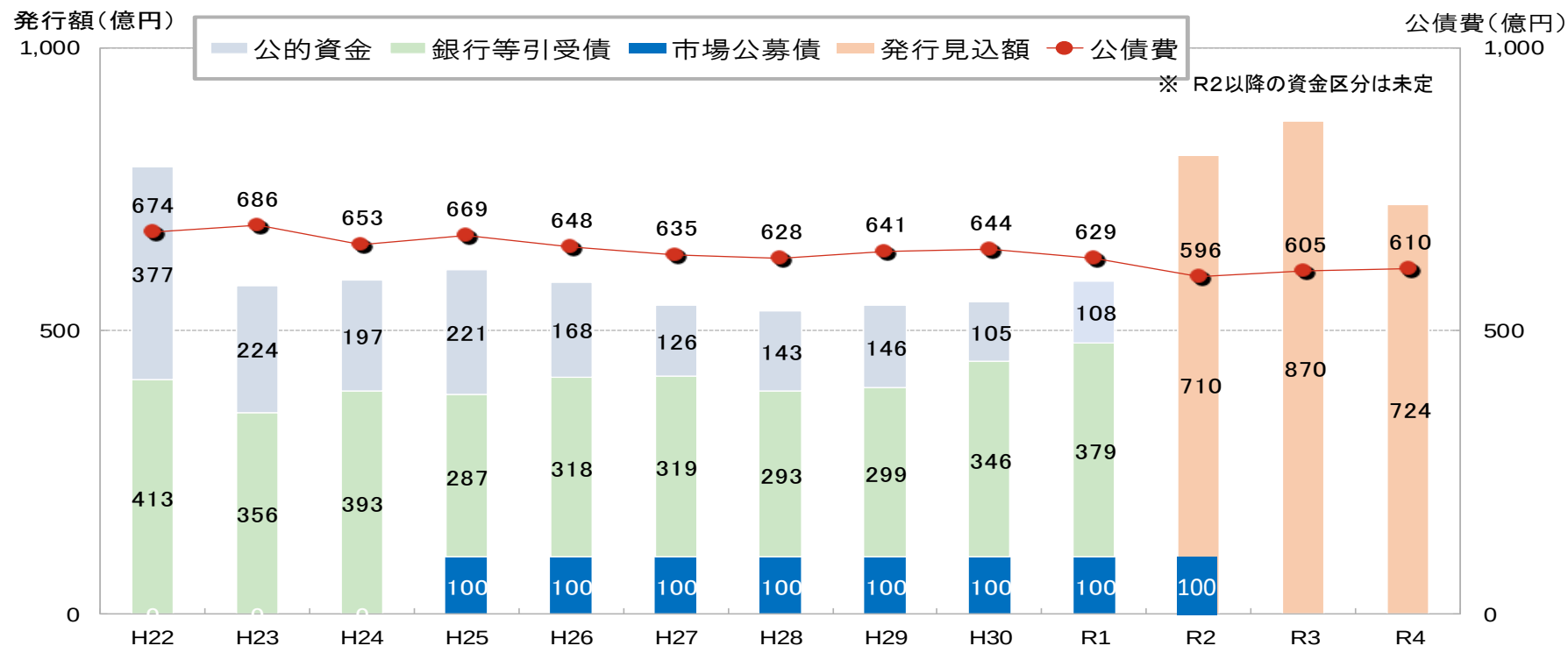


3

県債の状況

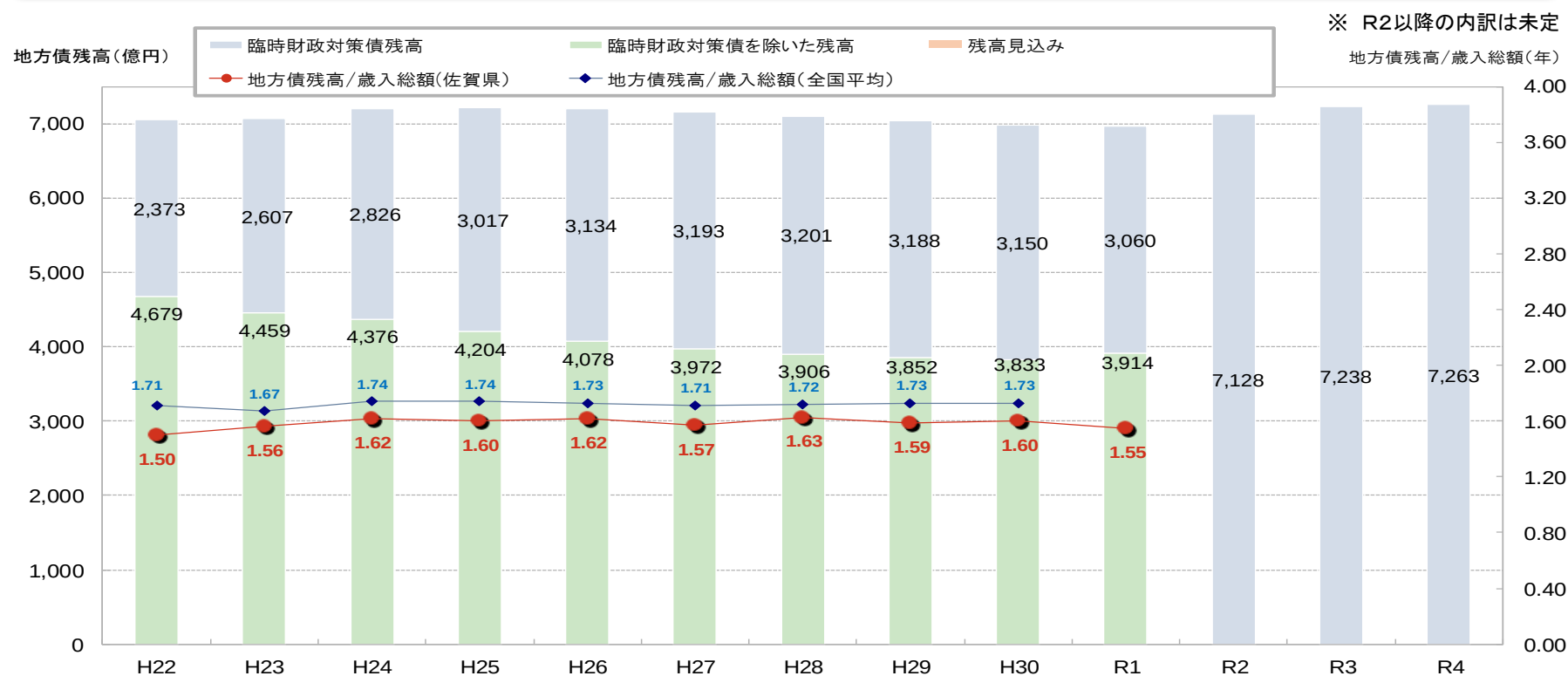
資金調達の推移

- 発行額は、平成27年度以降、横ばいとなっていますが、今後は、臨時大型事業の実施に伴い、増加が見込まれます。
- 資金区分は、民間資金の割合が高くなってきています。資金調達の多様化を図ります。



県債残高の推移

- 県債残高は、平成25年度をピークに5年連続で縮減できています。
- 今後、大型事業の実施が見込まれますが、20年以上の超長期年限債を発行し、公債費負担の平準化を図ります。
- 平成30年度の歳入決算に占める県債残高の割合は、全国で低いほうから第8位となっています。



4

行財政運営計画

行財政運営計画2015の総括

計画期間

平成27年度から平成30年度まで ※平成27年7月策定

収支見通し及び実績

平成27年度に行った収支試算の結果、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移することにより、平成30年度末に財源調整用基金が枯渇する見込みでした。



平成30年度で実施期間終了したところ、収支改善対策を講じたことにより計画策定時の収支見通しを上回る基金残高を確保しました。

実績

収支改善対策（一般財源ベース）		目標	実績
歳出抑制	投資的経費の抑制	1 4 5 億円	1 5 6 億円
増収	ふるさと納税	8 億円	2 5.8 億円
	県税の未収額縮減等	2.5 億円	7.1 億円
	未利用財産の売却	4 億円	6.2 億円
	有料広告等	0.4 億円	0.3 億円
財政的工夫	退職手当基金の活用（取崩）	4 0 億円	4 0 億円
計		2 0 0 億円	2 3 5 億円



	目標	実績
<H30年度末> 財政調整用基金残高	1 3 5 億円	1 6 0 億円

行財政運営計画2019(R元~R4年度)

これまでの取組により一定の健全化が図られていますが、**時代に即した施策を時機を逃さず実施していくため、県政運営の土台となる行財政運営を強化**します。

効率的かつ効果的な行政運営

- 1 人材の確保・育成
- 2 業務改革・業務改善の推進
- 3 時代に対応した組織づくり

安定的かつ弾力的な財政運営

- 1 歳入確保対策の強化
 - (1) 財源の獲得
 - (2) 自主財源の確保
- 2 徹底した歳出の見直し
- 3 持続可能で柔軟な財政構造の確立

収支不足額、財源調整用基金残高の推移

※R2. 9月試算（単位：億円）

	R元	R2	R3	R4
収支不足額	22	8	△48	△41
財源調整用基金残高	182	190	142	101

収支改善対策（R元～R4年度）

※R2. 9月試算

収支改善対策		金額
増収・未収対策	○県有財産の活用	13億円程度
	○県税の未収額縮減	
	○ふるさと納税の活用	
	○民間企業等の助成金の活用	
財政的工夫	土地開発基金の活用	120億円程度
	大規模施設整備基金の活用	40億円程度
計		173億円程度

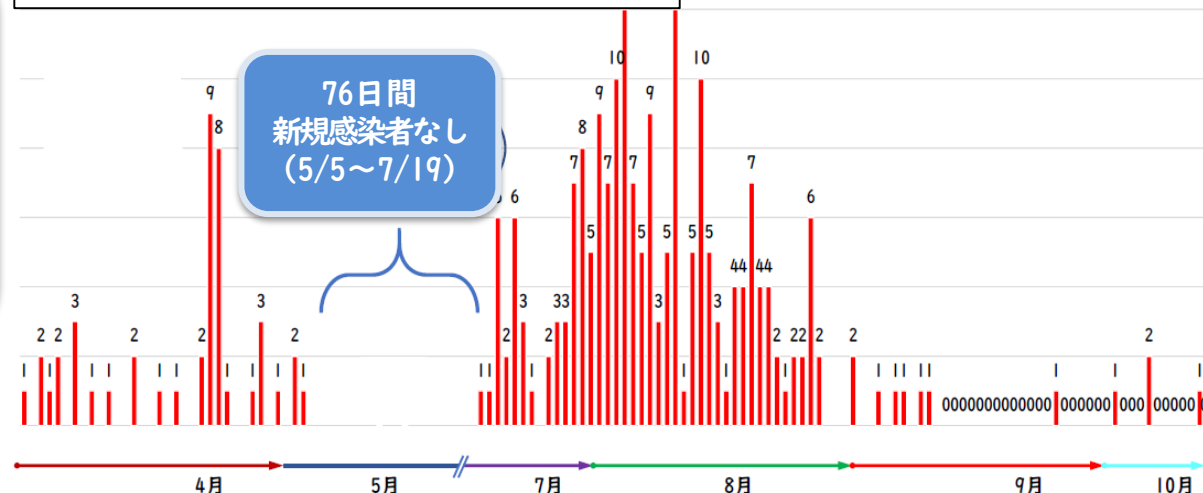
5

本県の取組

新型コロナウイルス感染症対策(感染状況等)

佐賀県では、現場を大切に
先手対応する「**佐賀方式**」
によりコロナ対策を実施。
◆5/5～7/19は新規感染者なし
◆死者数ゼロ

佐賀県の感染状況（10/14時点）



3/13 1名
3/31 1名

佐賀方式 ～現場を大切に 先手先手で～

1 濃厚接触者に加え「念のため検査」を当初から実施
→国の基準の5.6倍の検査数

2 陽性者は すぐ入院 または ホテルで療養
→当日入院が6割以上、翌日までに99%が入院・療養
→自宅療養ゼロ

3 プロジェクトM
→重症者～無症状者を状況にあわせてオペレーション
→前広に病床確保（病床281床＋ホテル230室）

マンツーマンディフェンス
（1つ1つ丁寧な対応）

県が保健所業務を一括管理
（全国では佐賀県・徳島県のみ）

新型コロナウイルス感染症対策(佐賀県の姿勢)

「現場に根差した」対応

- 3/3 開始 学校現場の混乱を避けるため、**国より1日余裕をもたせて、3/3(火)から学校臨時休校を開始**
- 4/20 発表 感染を一気に封じ込めるため、特定警戒7都道府県以外では、**全国に先駆け、「佐賀県緊急事態措置」により休業・県境移動自粛など要請**
- 5/5 発表 現場の状況を踏まえ、**段階的に**、店舗、県有施設、学校、接待を伴う飲食店を再開

5月7日以降、段階を踏って丁寧に対応していきます

3	4	5	6	5/7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

「オープン」で「わかりやすい」

- ・41回開催した対策本部会議は**全て公開**
- ・ウェブでも、動画など**即日配信**
- ・直近1週間の感染状況を「コロナボード」で**毎日公開**
- ・「巣ごもり」「支え愛」による活動局面の説明
- ・県庁舎のライトアップで日々の感染状況をお知らせ！

今はこっち！

支え愛
活動局面



巣ごもり
局面



佐賀県 新型コロナウイルス ボード

22日 18時15分現在

	10月16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
佐賀県感染者数 (新規感染者)※	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
PCR検査等	62	64	50	72	73	84	46
【参考】 福岡県感染者数	8	3	3	4	7	7	9

※確認時点で既感染者との接触がない新規の感染者数

入院者	1	2	2	2	2	2	1
ホテル療養	2	3	3	3	3	3	3

これまでの累計

感染者数	253 (251)	PCR検査等	6,820
------	-----------	--------	-------

※()は実人数

新型コロナウイルス感染症対策(支援策)

全国に先駆けて実施！

「新型コロナ対策資金」
中小・小規模事業者

新型コロナウイルス感染症の影響により資金繰りが悪化している中小企業・個人事業主へ十分な金融支援を行うため、融資枠を1,200億円に拡大します。(900億円増)

3年間 実質無利子
保証料 ゼロ
融資限度額 1億1千万円

国資金 3千万円
県資金 8千万円

無利子
(九州では佐賀県のみ)
保証料ゼロ
など

約3,000件
842億円の申込

新たなチャレンジ

国の支援対象から外れた
新店舗をカバー！

チャレンジ事業者 持続化支援金

国の持続化給付金の対象にならない事業者にも県独自で支援

国 (例1) 初めての店舗をオープン 佐賀県

事業者支援「佐賀型 店舗休業支援金」
第1弾

佐賀県の休業要請対象者が県からの休業要請等に応じ、休業又は夜20時から朝5時までの営業を休止した場合には、事業者に支援金を交付します。

店舗数 **×15万円** 上限なし

店舗単位で
休業支援金を給付！

対象 佐賀県内の事業者
対象 新型コロナウイルスの影響により売上
減少額 法人200万円、個人事業主100万円以上

佐賀県は、事業者ご
とではありません！
家賃や人件費など
何にでも使えます。

子ども・若者支援

保護者が
感染した
子どもを
サポート

「要保護児童サポート体制整備」

① 保護者が新型コロナウイルスに感染した場合、最良の選択となった児童を育てていきます。
② 児童養護施設等の感染防止体制を整えます。

① 県の受入体制の充実
一時保護所をはじめとする県立施設における受入体制の整備・強化

② 児童養護施設等の体制整備の支援
バーチャル空間の導入支援
施設の情報化の支援

「さがウェディング♡祝福プラン」

新型コロナウイルス感染症の影響により、結婚式をはじめとする式典またはキャンセルとなったカップルを支援します。

人生の大切な節目となる結婚式が中止となり、とても残念。
予定していた結婚式等を延期またはキャンセルしたカップルに、10万円の支援金と5千円の花のギフトカードを交付します。

佐賀で
ご結婚を
祝福！

現場の痛みに寄り添う -佐賀独自の支援策の一例-

「プロスポーツチームへの支援」
6月補正予算:2億3,000万円

佐賀のチカラ・佐賀のプロスポーツチームを応援！

リアルとオンラインが融合した文化芸術祭「LiveS Beyond (ライブス ビヨンド)」開催

第9弾

今後も3密を避けた活動が求められる中、リアルとオンラインを組み合わせながら、新たな文化芸術活動のモデル創出にチャレンジしていく、文化芸術祭「LiveS Beyond」を開催します。

活動できない期間がまだまだ続きそう。「新しい生活様式」の中でどう活動していけるのか。

このままでは、続けられない文化の灯

リアル×オンラインで
新たな文化を構築！

年内100回超
公演予定

文化・スポーツ

チカラで、県民の暮らしに元気を

「新たなまちづくりチャレンジ補助金」
6月補正予算:3,100万円

新型コロナウイルス感染症の影響により観光客や来店客が減少する中、地域コミュニティの強い絆として新たなまちづくりに取り組み商業者や事業者が補助金を交付します。

対象:県内の事業者グループ(5事業者以上)等

新たなまちづくりの力に！

「新たなスタイルによる観光の推進」
6月補正予算:2,200万円

自粛期間、密を避ける中、今回の新型コロナウイルスにより、人の移動が止まり、観光産業は大ダメージを受けています。新たなスタイルのイベント開催支援や県内・九州域内からの観光客誘致対策により、県内観光産業の回復を図ります。

新たなスタイルのイベント開催等の支援

① 観光スタイルのイベントの開催支援
の自宅に居ながら佐賀の魅力や観光を体感できる「お出かけ佐賀観光ボックス」の開催支援

県内・九州域内からの観光客誘致の強化

の県内・九州域内からの観光客誘致と県内観光産業の回復を図ります。

観光・地域振興

幅広い分野で！

「肥育牛農家・花農家に対する支援」
6月補正予算:3億5,500万円

インバウンドや飲食・イベントなどの需要が大幅に低下したことで、牛肉や花の市場価格が暴落しています。佐賀牛や花を生産している農家の皆さんが、前を向いて取り組んでいただけるよう、次の生産に向けて支援します。

「たまねぎ農家への支援」
6月補正予算:3億5,500万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外食などの業務用需要が大幅に減少したことで、たまねぎの市場価格が暴落しています。農家の皆さんが、前を向いて取り組んでいただけるよう、次の生産に向けて支援します。

「陶磁器・家具産地への支援」
6月補正予算:1億1,000万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用やイベント需要の減少により、陶磁器・家具の市場価格が暴落しています。陶磁器・家具の産地である佐賀県に、支援を行います。

花・肥育牛・たまねぎなど農家へ

陶磁器・家具産地などものづくりを支援

生産者・ものづくりなど事業者支援

OPEN-AIR佐賀の取組

※OPEN-AIR：戸外・屋外のこと



佐賀から発信！「新たな生活スタイル」

- ・ 広く澄みわたる青空のもと、佐賀の様々な魅力を体感！
- ・ 感染リスクが少ない大空のもと、多彩な自然体験などを楽しむスタイル
「OPEN-AIR佐賀」を県内外に情報発信しています。
- ・ 観光や体験だけでなく、働く、食べる、子育てなど、様々な分野で新しいライフスタイルに取り組み、佐賀から全国に発信します。



PLAYLAND

フォレストアドベンチャー
吉野ヶ里歴史公園
神水川パークゴルフ場



CAMP

波戸岬キャンプ場
SAGA FURUYU CAMP
道の駅大和オートキャンプ場

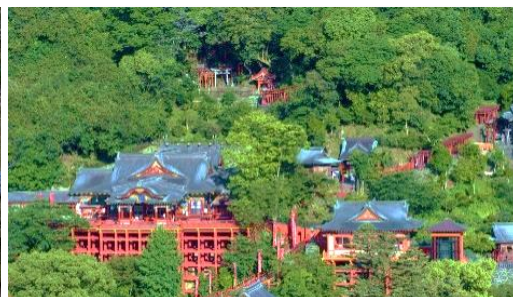


FLOWER

ブーゲンハウス雄野
祐徳稲荷神社
大興善寺



フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里



祐徳稲荷神社



波戸岬キャンプ場

Wi-Fi環境整備を進めています。
自然を楽しみながら、リモートワーク
もできるようになります。

◆「SAGAナイトテラスチャレンジ」 ～ 店先の歩道を活用した オープンテラス運営の社会実験 ～



佐賀市中央大通り
店舗拡大中



道路占用許可のスピード
(佐賀県が一括申請)

↓
これをモデルに、国も基準緩和へ
R2.6.5：新型コロナウイルス感
染症のための沿道飲食店などの路
上利用に伴う道路占用の緊急特例
措置→全国に取組拡大

第1弾 5/22～ 6/6：12店舗でスタート

第2弾 9/18～10/1：エリア拡大、20店舗参加

第3弾 10/24～11/15：独自のモバイルオーダーシステム導入予定

九州佐賀国際空港の取組

マルチインバウンド拠点を目指しています。

アジアの時代。軸足は九州・佐賀へ。



ターミナルビルをリニューアル中です。

機能向上に加えて、航空機利用以外の人も楽しめる空港へ。



ANAと連携して、イノベーションモデル空港化に取り組んでいます。

働き方改革や、ウイズコロナ・アフターコロナを念頭に、新しい技術等の導入に向け実証実験を行い、実用化を目指しています。

ロボットスーツを活用した
作業負担軽減



省力化

リモートコントロール式
航空機けん引・移動



トイングトラクター
自動走行技術



自動化

手荷物自動
積み付け技術



新しい観光スタイルに向けて

新型コロナにより落ち込んだ

観光需要の回復

7月～

例年、観光需要の高い秋・冬の

観光需要の回復

10月～



新しい観光スタイル 10月～

3密回避し、安全・安心な旅行を！

屋外観光の促進

自然体験や自然景観の
体験料金等の割引

OPEN-AIR佐賀



宿泊料金の割引

旅行プラン
グレードアップ

平日宿泊の促進

○宿泊料金を1人最大5000円割引

引き続き実施

○佐賀らしさを求めた旅行商品の造成

いか活造り定食など特産品料理や半潜水型海中展望船
『ジューラ』の遊覧体験等を加えた特別旅行プラン等



#佐賀支え愛

○平日宿泊された方に抽選で、県産品をプレゼント

平日宿泊客を増やし、施設運営の回復へ寄与

旅を自宅に

選べる8つのお取り寄せ品
& 産地を訪ねるオンライン体験

をセット販売

皆さんに 実際に佐賀県を訪れるきっかけを



稼げる農業の確立

本県では、収量・品質の向上や経営の規模拡大・多角化等により所得向上を図ることで「稼げる農業」を確立させ、それを新規就農者や担い手の確保・育成につなげていく好循環を生み出すため、「**さが園芸生産888億円推進運動**」を核とした取組を進めています。また、技術革新が目覚ましいスマート農業なども取り入れながら、農業産出額を1,311億円(H29)から1,600億円(R10)にまで増やすことを目指しています。

<主な取組等>

さが園芸生産888億円推進運動

野菜、果樹、花き、茶などの園芸農業の産出額を令和10年までに888億円に拡大することを目標に、県や市町、農協、生産者が一丸となって展開中。



園芸団地の整備

スマート農業の推進

AIやIoT等を活用したスマート農業の実証に取り組み、時代に合った新しい農業の姿を佐賀から発信。



統合環境制御技術による単収UP



大規模水田スマート農業の現地実証

全国に誇れる農産物



新品種「いちごさん」



「佐賀牛」



新品種「佐賀果試35号」

R3春デビュー予定



「さがびより」

企業誘致の促進

今後の成長が見込める分野の製造業や各種産業の成長に必要不可欠な事務系企業（例えばIT関連）など若者の地元就職やUJIターンを誘引する多様で魅力ある企業の誘致推進に取り組んでいます。

優れた交通アクセス

- ・ 高速道路、鉄道など九州の
クロスポイント
- ・ **アジア**に開かれた空港、港湾も充実

強みや優位性を 生かした誘致活動

交通



少ない自然災害

- ・ 南海トラフ巨大地震による
政府想定津波**津波被害ゼロ**
- ・ **地震、津波、洪水**などが少ない

B C P

優秀で豊富な人財・雇用

- ・ モノづくり、人づくりの**DNA**
- ・ **実直で勤勉**な県民性
例：進出企業からの評価「離職率が低く、真面目」

人財

安心の立地環境・支援体制

- ・ **安価な地価・賃料、ワンコインリース**
- ・ 全国トップクラスの**優遇制度**
- ・ **パーマネントスタッフ制度**

+ α

ターゲット企業

- 本県に強みや素地がある分野、今後の成長が見込める製造業（自動車・航空機、化粧品、医療、半導体、ロボット関連産業）
- 各種産業の成長に必要不可欠となっているIT関連産業を中心とする事務系企業

教育機関との連携

- 雇用情勢の改善に伴い企業の人材確保が厳しくなり、企業誘致における「人財」の重要度が高まっていることを踏まえ、人材確保やUJIターン促進のため、県内外の教育機関（高校、大学、短大、専門学校）と連携

誘致実績

- ＜令和元年度実績＞
- ・ 進出企業：21件
（新設8、増設10、移転増設3）
 - ・ 業種内訳：製造業7、事務系10、
物流業3、その他1
 - ・ 雇用計画：231人

DX・スタートアップの支援・促進

産業スマート化センターをハブとした産業DXの促進や、スタートアップの発掘・支援を行うとともに、これを支え、次世代の産業を担うIT人材の育成に取り組んでいます。

商工業分野をはじめ、多様な分野で
DXへのチャレンジが顕在化！

全国での受賞や大手企業との協業する
スタートアップが複数登場！



産業スマート化センター

○国内外のIT企業とも連携し、
県内産業のDXを支援・促進

○イノベーションのハブとして
各機関と一体的に、県内企業の
チャレンジを支援

IT人材の育成

○プログラミング言語「Python」を
中心としたIT人材育成のオンライン
講座を開催

○地域でAIを主導できる専門人材
を育成

スタートアップの発掘・育成

○シードの掘り起こからビジネス
化までをメンター的に支援

○クラウドファンディングやVC・
エンジェル投資家による投資を
呼び込み資金調達を支援

SAGAサンライズパークの整備

国スポ・全障スポの開催を契機とした施設整備

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、県民の夢や感動を生み出す、スポーツの一大拠点を形成するとともに、スポーツ・文化など様々な活動を通じて、地域の活力を生み出し、新たな本県の未来を切り拓く「さが躍動」の象徴的エリアとなることを目指しています。

※SAGAサンライズパークとは、所在する「佐賀市日の出」という地名にちなんだ名称。

(総合運動場・総合体育館エリアを一体的に呼称)



SAGAサンライズパークの整備イメージ

整備の基本的な考え方と主な施設計画

整備の基本的な考え方

1 県有スポーツ施設としてのあるべき機能・設備を備えた施設

① スポーツを楽しむ環境を整える

する

② 競技力の向上を支援する環境を整える

育てる

③ スポーツツーリズムを推進できる環境を整える

観る

2 支える側も楽しめる施設

支える

3 多目的な利用ができる施設

憩い、にぎわう

SAGAアリーナ・防災拠点施設 メインアリーナは、約8,400席の観客席



◆ バレーボール、バスケットボール等のプロの試合やコンサート等のイベントが開催可能な多目的アリーナの整備

SAGAアクア 国際基準の50mプール



◆ 競泳、水球、アーティスティックスイミングが競技可能な屋内50mプールと飛込競技を行う飛込みプールを整備

SAGAスポーツピラミッド構想の推進

佐賀ゆかりのトップアスリートの育成、活躍、転進を通じて、スポーツ文化(する、育てる、観る、支える)の裾野が拡大し、さらなるトップアスリートの育成につながる好循環を確立することで、スポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを進めています。



佐賀から世界へ挑戦！

アスリートの育成

SSP構想

**スポーツ文化の裾野の拡大
(する・育てる・観る・支える)**

夢・感動・誇り

県民

指導者として
新たなステージへ

選手

**【2018】
Start**

**【2020】
SAGA
2020
SSP杯**

**【2021】
東京
オリ・パラ**

**【2023】
SAGAサン
ライズパーク
整備完了**

**【2024】
パリ
オリ・パラ**

**【2024】
佐賀国スポ
・全障スポ**

スポーツの輪が広がっています！

SAGA2020SSP杯開催



SSP杯・野球競技



七人制ラグビー
津岡 翔太郎選手

SSPトップアスリート



さが未来スポーツ応援団結成

日本フェンシング協会との連携

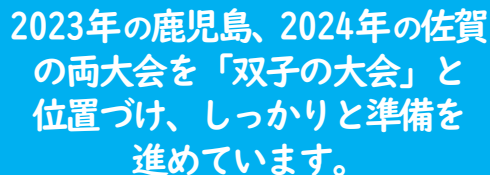
**フェンシング
競技で
日本初**



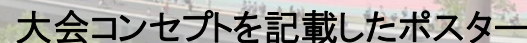
**SAGAサンライズパークフェンシング場
JOCフェンシング競技強化センター認定**

すでに、これまでの国体の取組にはない、大会の**愛称・メッセージの制定**や、**大会のコンセプトを記載したポスターなどの制作**に取り組んでおり、今後も、新しい大会の実現に向けて、様々なチャレンジをしていきます。

する・観る・支える、それぞれのスタイルで楽しむ 新しい大会へ



山口佐賀県知事と日本スポーツ協会・伊藤会長
愛称・メッセージの共同発表(SAGA2023時)



アスリートの活躍にスポットを当てた大会

- ・ 全競技のオンライン配信
- ・ アスリートのモチベーションをより高める仕掛け 等

大会全体のエンターテインメント化

- ・ エンターテインメント性の高い総合開閉会式
- ・ 「スポーツ」と「ビジネス」の融合 等

子育てし大県“さが”プロジェクトの推進



結婚、出産、子育ての希望がかなう環境を整え、「佐賀で子育てがしたい」と思われるような佐賀県づくりを推進するプロジェクトに取り組んでいます。

年少(15歳未満)人口割合
13.5% 全国3位!

出会い

結婚

妊娠

出産

子育て

<取り組んでいる主な事業>

出会いの創造 (結婚支援等)

- ◆ SAGA未来デザイン事業
- ◆ 縁カウンターさが事業 等



子育て世帯に寄り添う支援

(保育サービス/母子医療・福祉等)

- ◆ 多胎家庭等サポート事業
- ◆ 「子どもの居場所を支える地域の力」マッピング強化事業 等



安心して子どもを産める環境づくり

(妊娠・出産支援等)

- ◆ 子宮頸がん撲滅事業
- ◆ 不妊・不育症治療支援事業 等



楽しく子育てができる環境づくり

(地域での子育て活動等)

- ◆ 子育て支援タクシー推進事業
- ◆ エンジョイパーク吉野ヶ里「子育てし大“券”事業 等



子育て応援キャラクター
「さがっぴい」

ワークライフバランスの実現

- ◆ マイナス1歳からのイクカジ推進事業 等

イクメン全国ランキング
全国1位! (※)

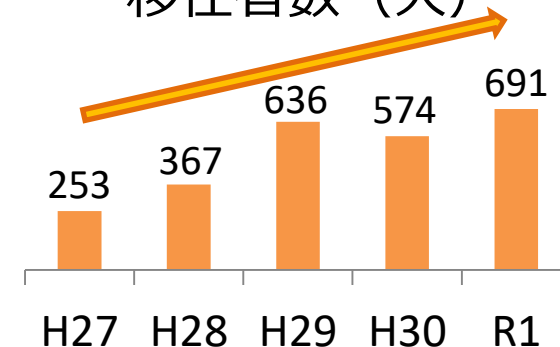
※イクメン白書2020/積水ハウス

移住の促進

移住希望者に対し、本県の魅力を伝える情報発信をするとともに、相談対応・情報発信の拠点として「さが移住サポートデスク」を3カ所（佐賀・東京・福岡）に設置しています。

こうした取組の結果、令和元年度には過去最高の移住者数を記録し、「全国移住希望地域ランキング」でも前年を上回る全国第8位にランクインしました。また年代別のランキングでも、20代以下では第3位、30代では5位にランクインするなど、本県の魅力がどんどん全国に広がっています。

移住者数（人）



〈取り組んでいる主な事業〉

さが移住サポートデスクの運営 佐賀・東京・福岡の3カ所に設置



佐賀



東京



福岡

佐賀県移住PR動画「やっぱよかでしょう佐賀。」

YouTube動画による情報発信（年間10本放送）



※第1弾は再生回数3.7万回を達成！

6

本県市場公募債について

発行概要等

市場公募債の令和2年度発行計画

発行額 100億円

償還年限 10年(満期一括)

条件決定日 令和2年11月11日

発行日 令和2年11月30日

個人向販売 SMBC日興証券(株)
大和証券(株)

シ団構成メンバー

(%)			
金融機関名	シェア	証券会社名	シェア
(株)佐賀銀行	21.0	SMBC日興証券(株)	13.0
(株)みずほ銀行	19.0	大和証券(株)	11.0
(株)佐賀共栄銀行	2.0	野村證券(株)	11.0
佐賀信用金庫	1.0	みずほ証券(株)	8.0
唐津信用金庫	1.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	5.0
伊万里信用金庫	1.0	岡三証券(株)	1.0
九州ひぜん信用金庫	1.0	しんきん証券(株)	1.0
(株)あおぞら銀行	1.0	東海東京証券(株)	1.0
(株)新生銀行	1.0		
(株)三井住友銀行	1.0		

資 料 編

令和2年10月

目次（資料編）

I. 令和元年度決算等の概要

普通会計決算の推移	P. 24
歳入決算の推移	P. 25
歳出決算の推移	P. 26
投資的経費の推移	P. 27
財政力指数	P. 28
経常収支比率	P. 29
実質公債費比率	P. 30
将来負担比率	P. 31
健全化比率等（令和元年度決算）	P. 32
いわゆるプライマリーバランス	P. 33
財源調整用基金	P. 34

II. 令和2年度予算の概要

予算規模の推移	P. 35
歳入予算の概要	P. 36
歳出予算の概況（性質別）	P. 37

III. 公営企業等の状況

公営企業会計の財務状況	P. 38
公社・第3セクターの状況	P. 39

IV. 地方公会計に基づく財務諸表の状況

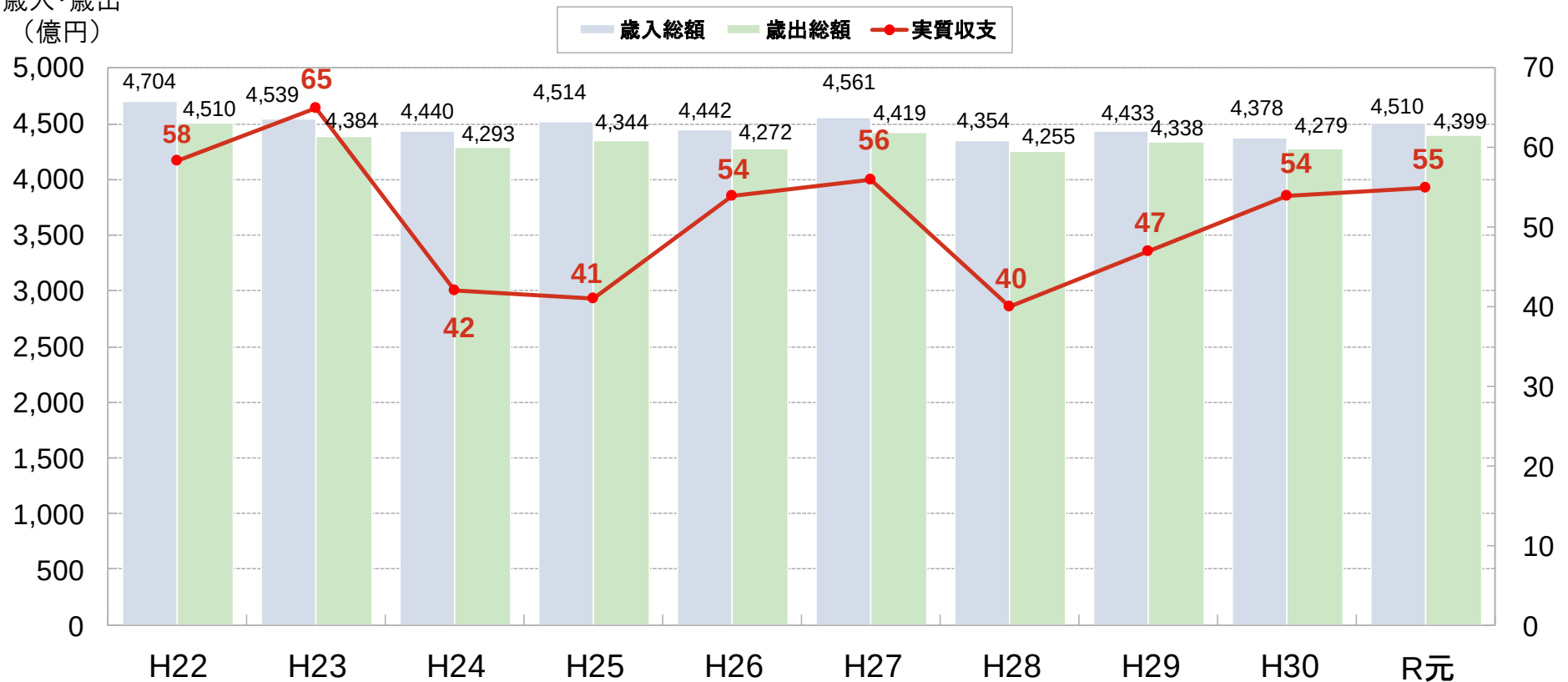
貸借対照表	P. 40
-------	-------

令和元年度決算等の概要

普通会計決算の推移

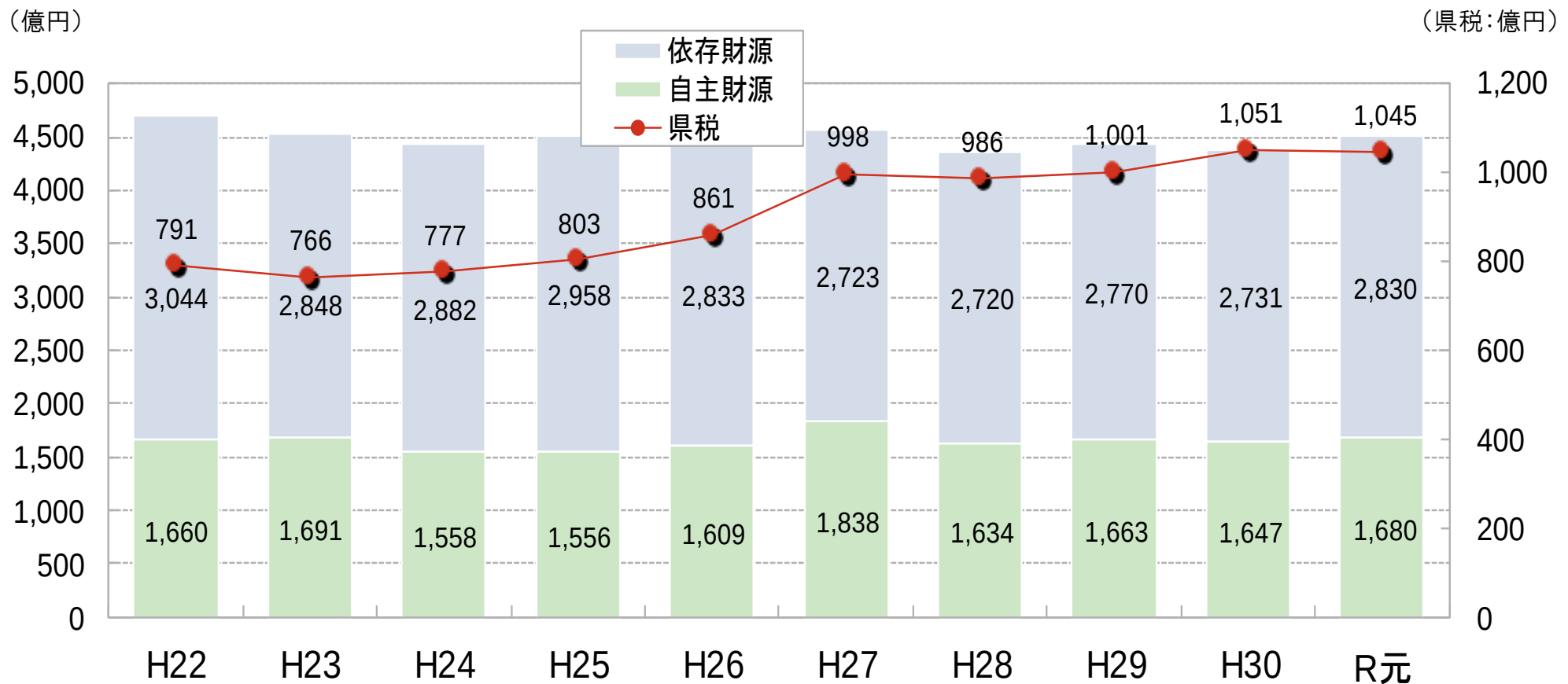
- 歳入・歳出はおおむね4,500億円程度とほぼ横ばいで推移しています。
- 実質収支は昭和51年度以降、44年連続の黒字です。

歳入・歳出
(億円)



歳入決算の推移

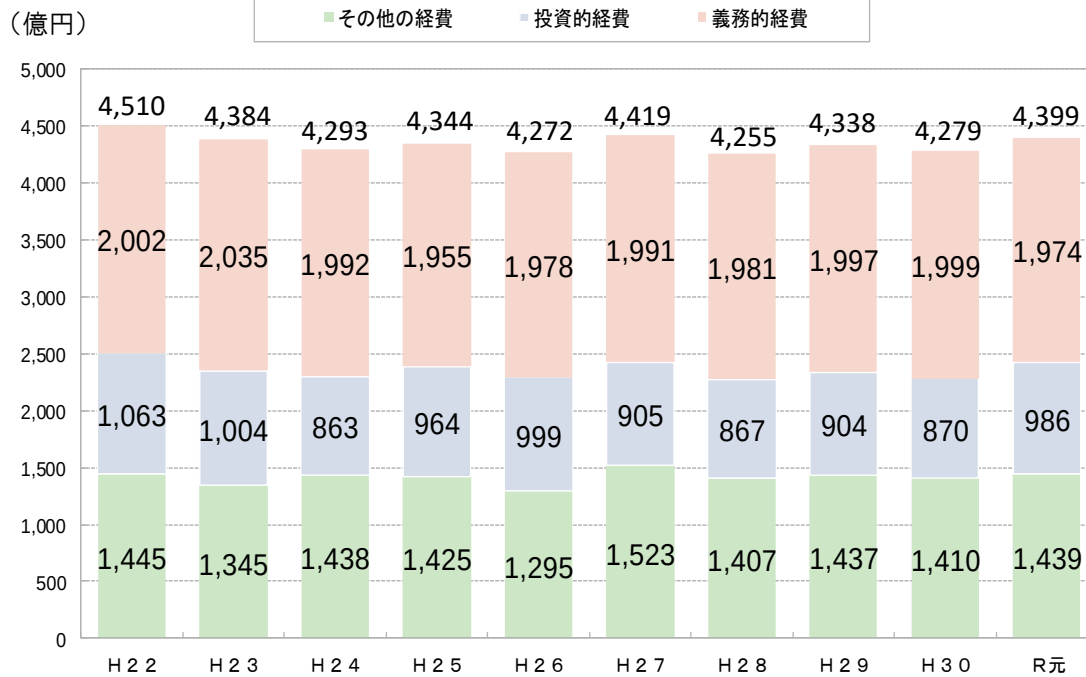
- 自主財源の比率は4割程度で推移しています。
- 県税収入は、近年は1,000億円前後で推移しています。



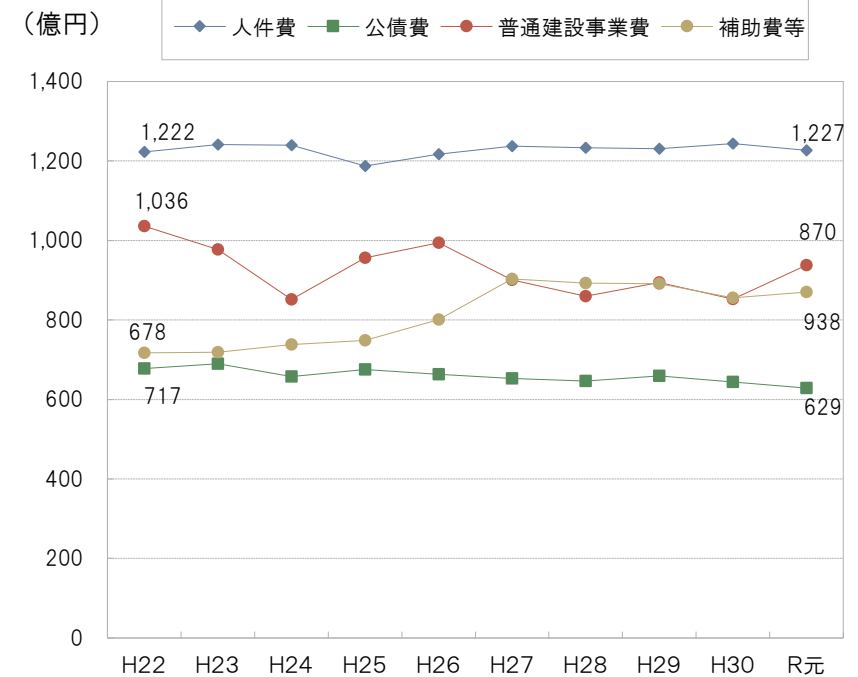
歳出決算の推移

- この10年は概ね4,400円程度で推移しています。

性質別の歳出決算の推移

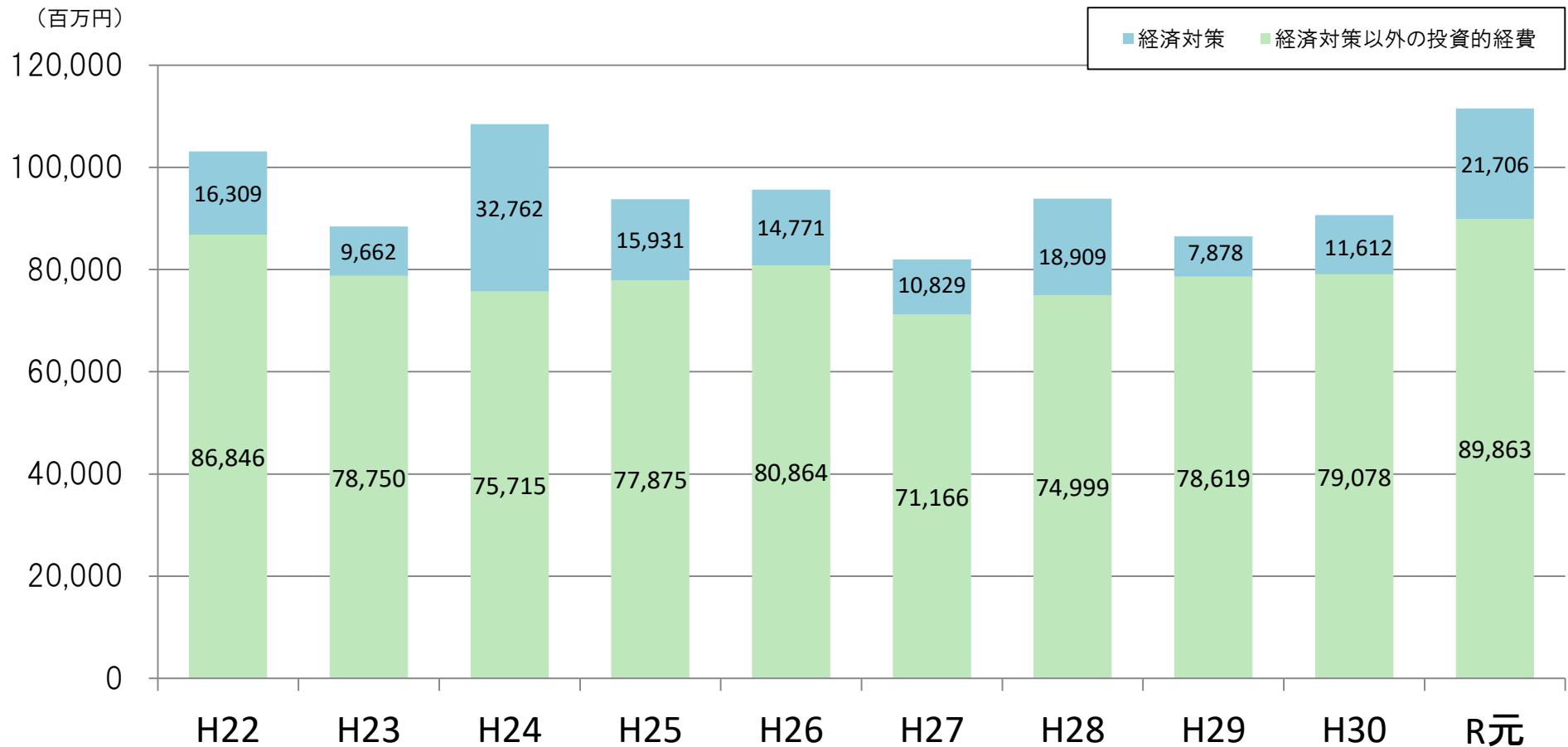


主な経費の推移



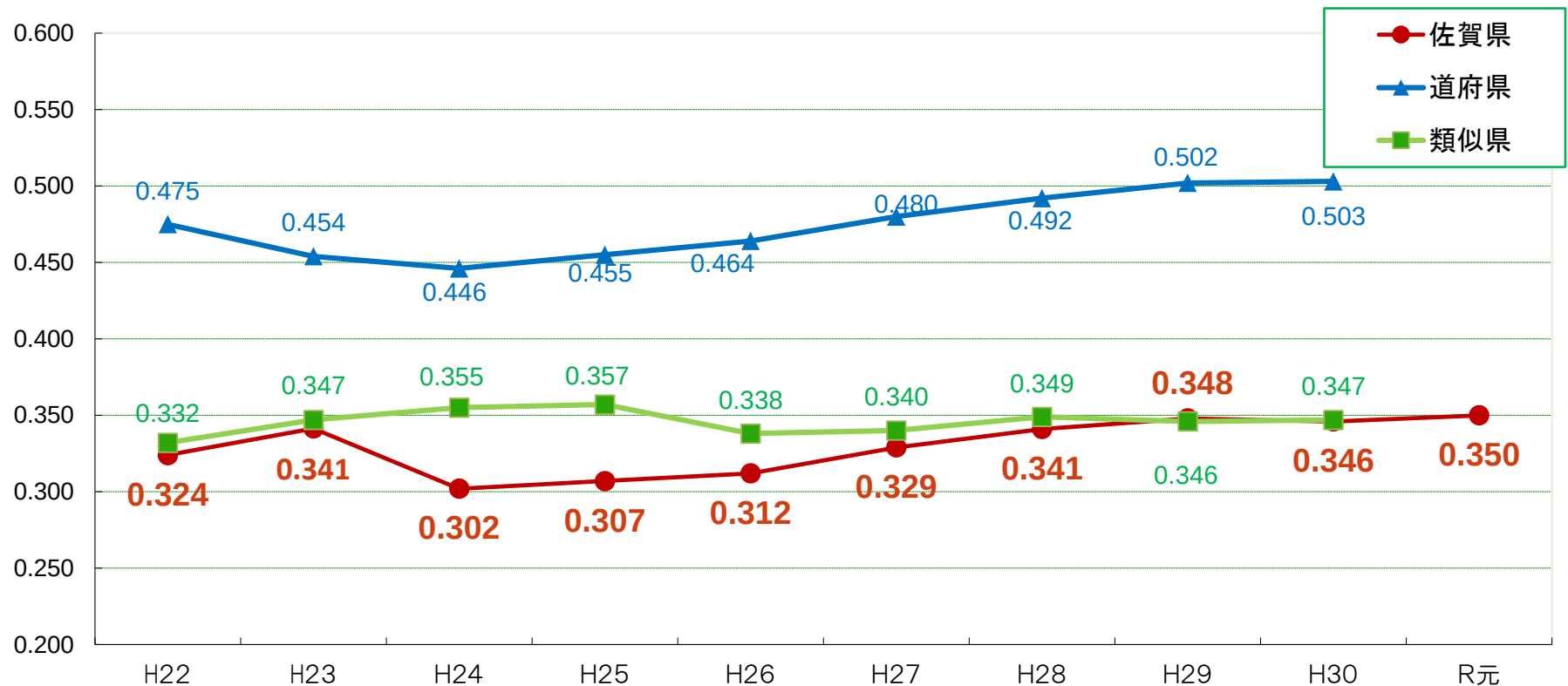
投資的経費の推移

- 投資的経費は経済対策等を除き近年は800億円前後で推移していましたが、R元年度は大型事業等の影響により900億円程度まで上昇しています。



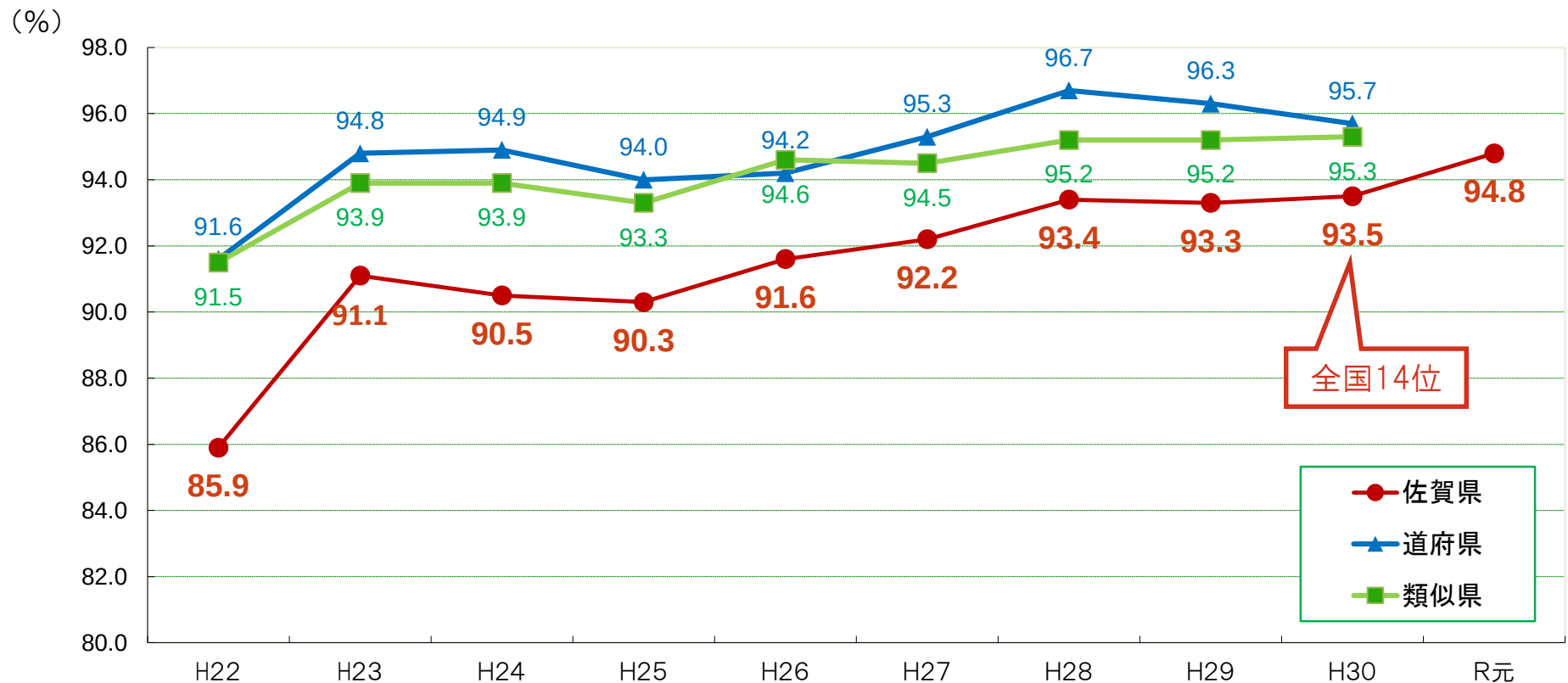
財政力指数

- 地方公共団体の財政力を表す指標であり、1に近づくほど財政力が強いとされています。
- 本県は近年、類似県と同定度の数値で推移しています。
- 平成30年度では、都道府県中40位となっています。(R元年度の全国順位は未公表)



経常収支比率

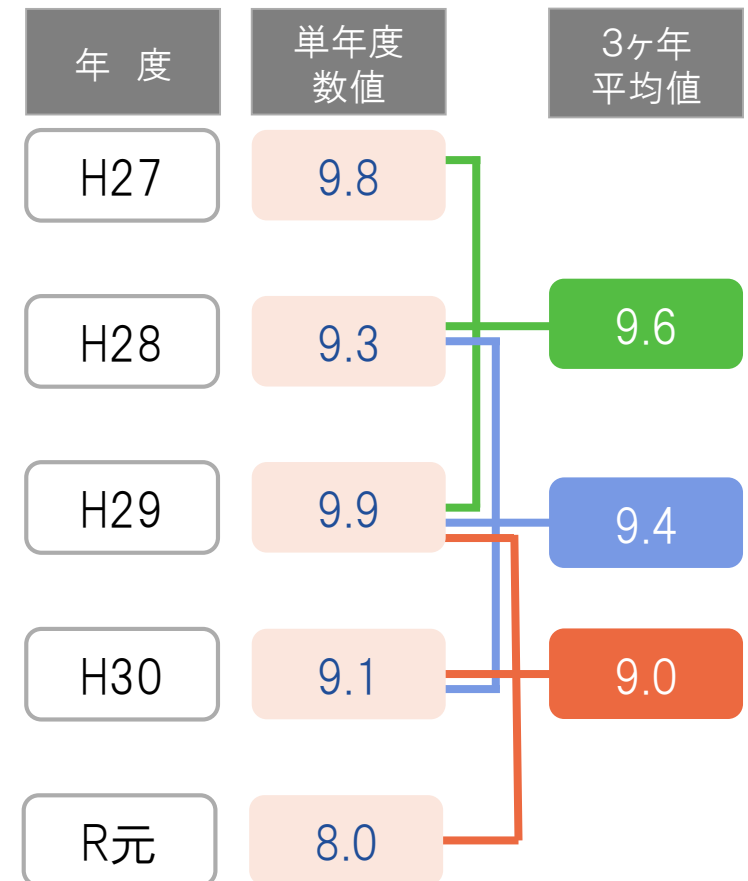
- 財政構造の弾力性を示す指標で、比率が低いほど行政需要に弾力的に対応できます。
- 平成30年度は、都道府県中、良いほうから第14位です。(R元年度の全国順位は未公表)



実質公債費比率

- 実質的な公債費(地方債の元利償還金)が財政に及ぼす負担を表すものです。
- 令和元年度では、都道府県中、良いほうから第11位(速報値ベース)となっています。

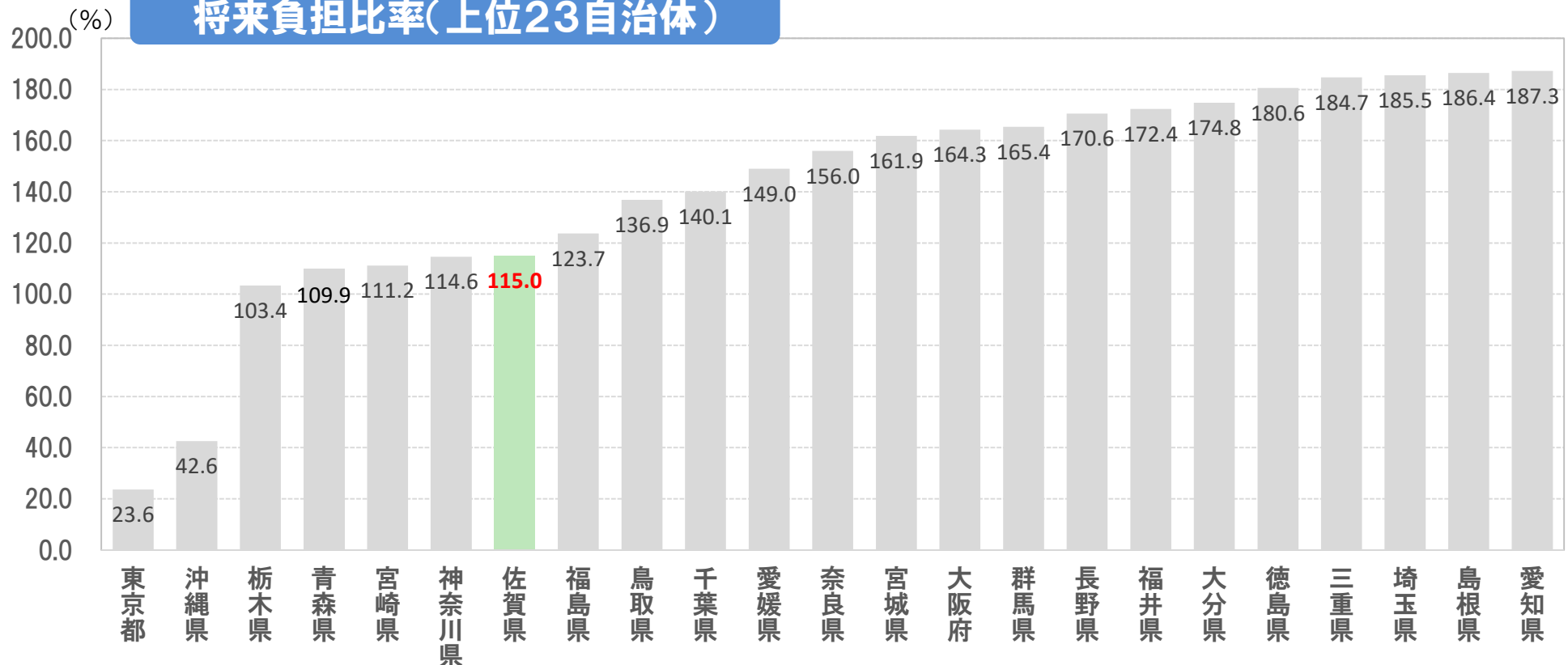
指標名		H29	H30	R元
実質公債費 比率	本県	9.6	9.4	9.0
	類似 団体	12.2	11.7	(未公表)
	全 国	11.4	10.9	(未公表)



将来負担比率

- 公営企業、出資法人等を含めた一般会計等が将来負担すべき実質的負債額の標準財政規模に対する比率を表すものです。
- 令和元年度では、都道府県中、良いほうから第7位(速報値ベース)となっています。

将来負担比率(上位23自治体)



健全化判断比率等(令和元年度決算)

健全化判断比率

(単位:%)

指標名	R元		H30			早期健全化 基準	財政再生 基準
	本県	順位	本県	全 国	順 位		
実質赤字比率	—	—	—	—	—	3.75	5.0
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	8.75	15.0
実質公債費比率	9.0	11	9.4	10.9	8	25.0	35.0
将来負担比率	115.0	7	111.6	173.6	4	400.0	—

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率がないため「—」で記載
 ※R元年度順位は速報値ベース

資金不足比率

(単位:%)

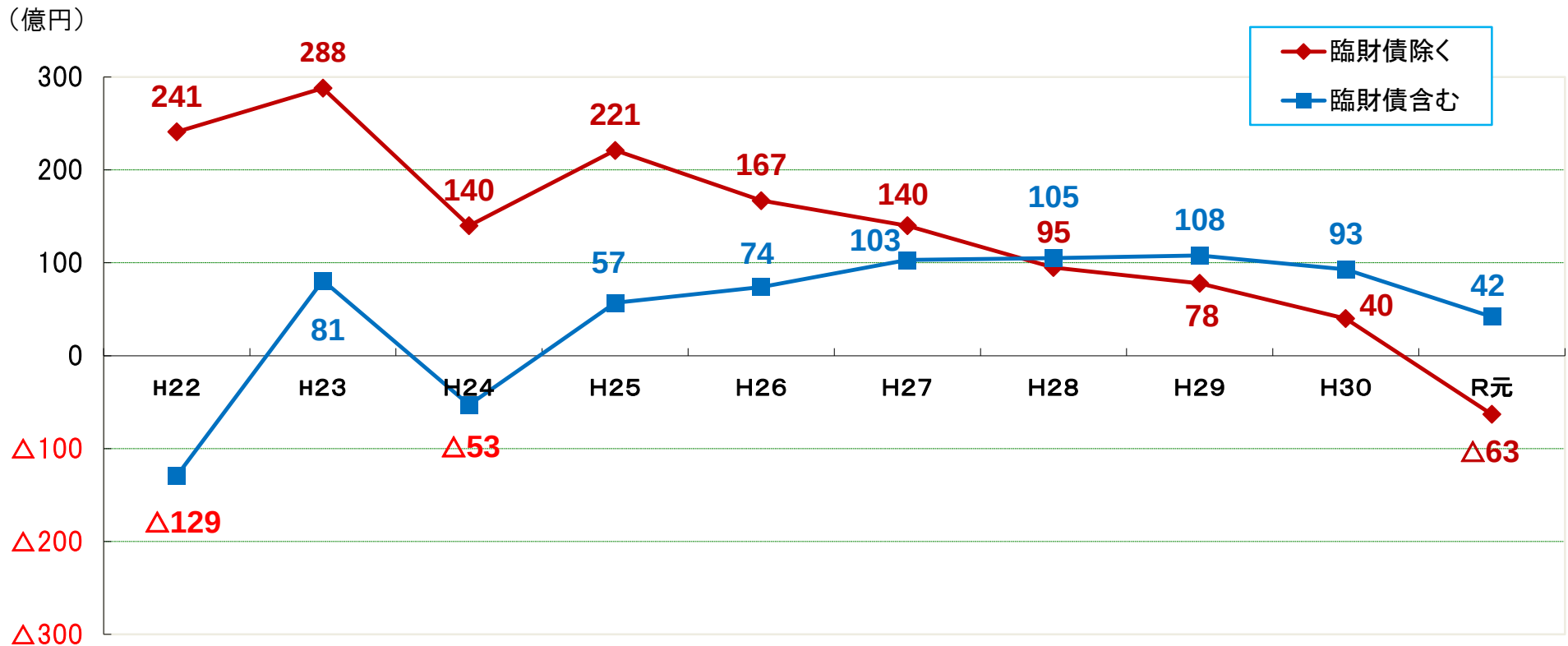
事業会計	本県	経営健全化 基準
佐賀県工業用水道事業会計	—	20.0
佐賀県港湾整備事業特別会計	—	20.0
佐賀県産業用地造成事業特別会計	—	20.0

(※)資金不足がないため「—」で記載

全ての
事業会計で、
資金不足なし

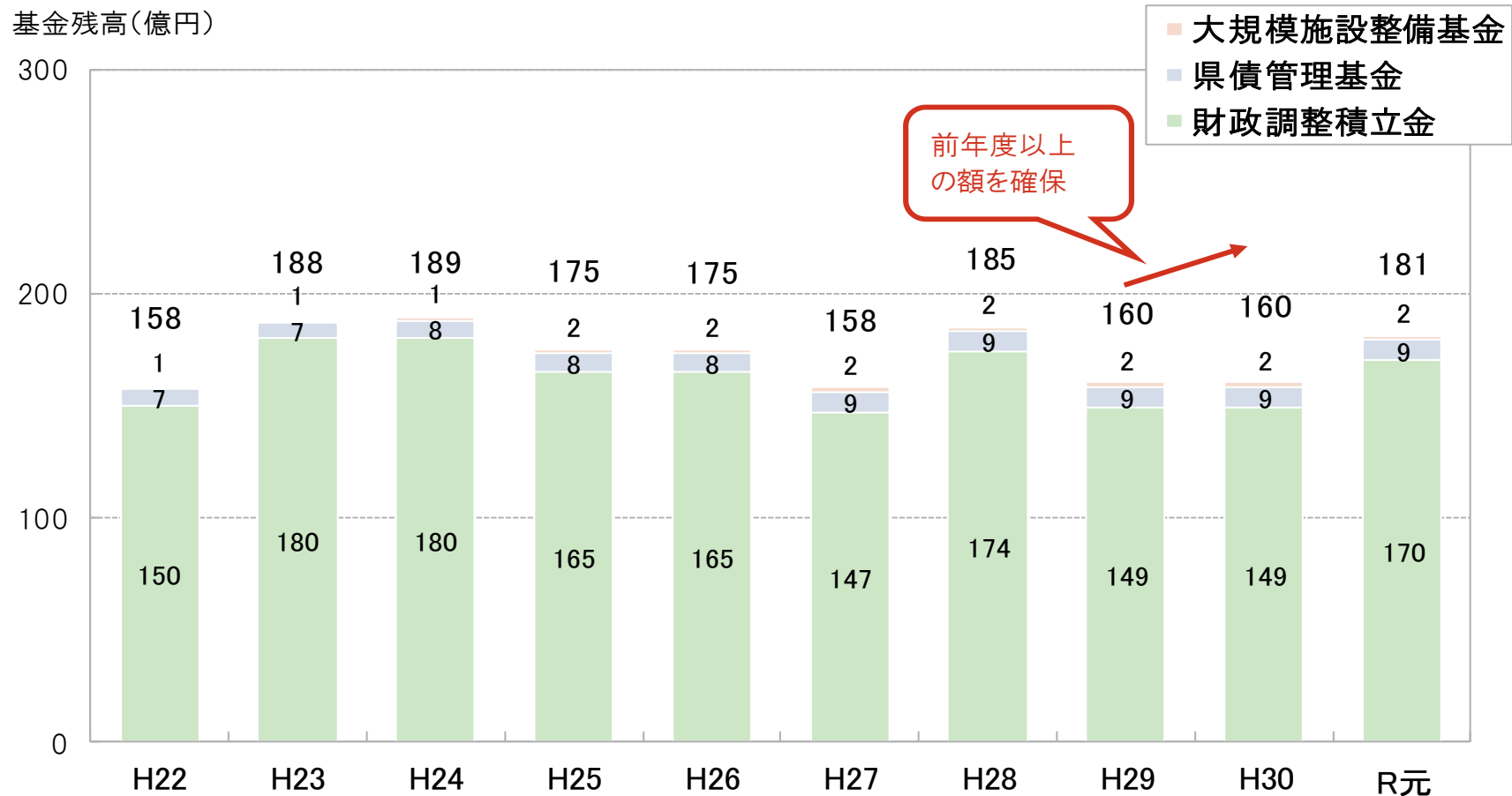
いわゆるプライマリーバランス

- 公債費(地方債の元利償還金)から県債発行による収入等を差し引いた収支のバランスのことです。
- 佐賀県の臨時財政対策債を除くいわゆるプライマリーバランスは、大型事業等の影響で、令和元年度は赤字となりました。



財源調整用基金

- 令和元年度末の基金残高(財政調整積立金、県債管理基金、大規模施設整備基金)は181億円となっており、前年度以上の額を確保しています。

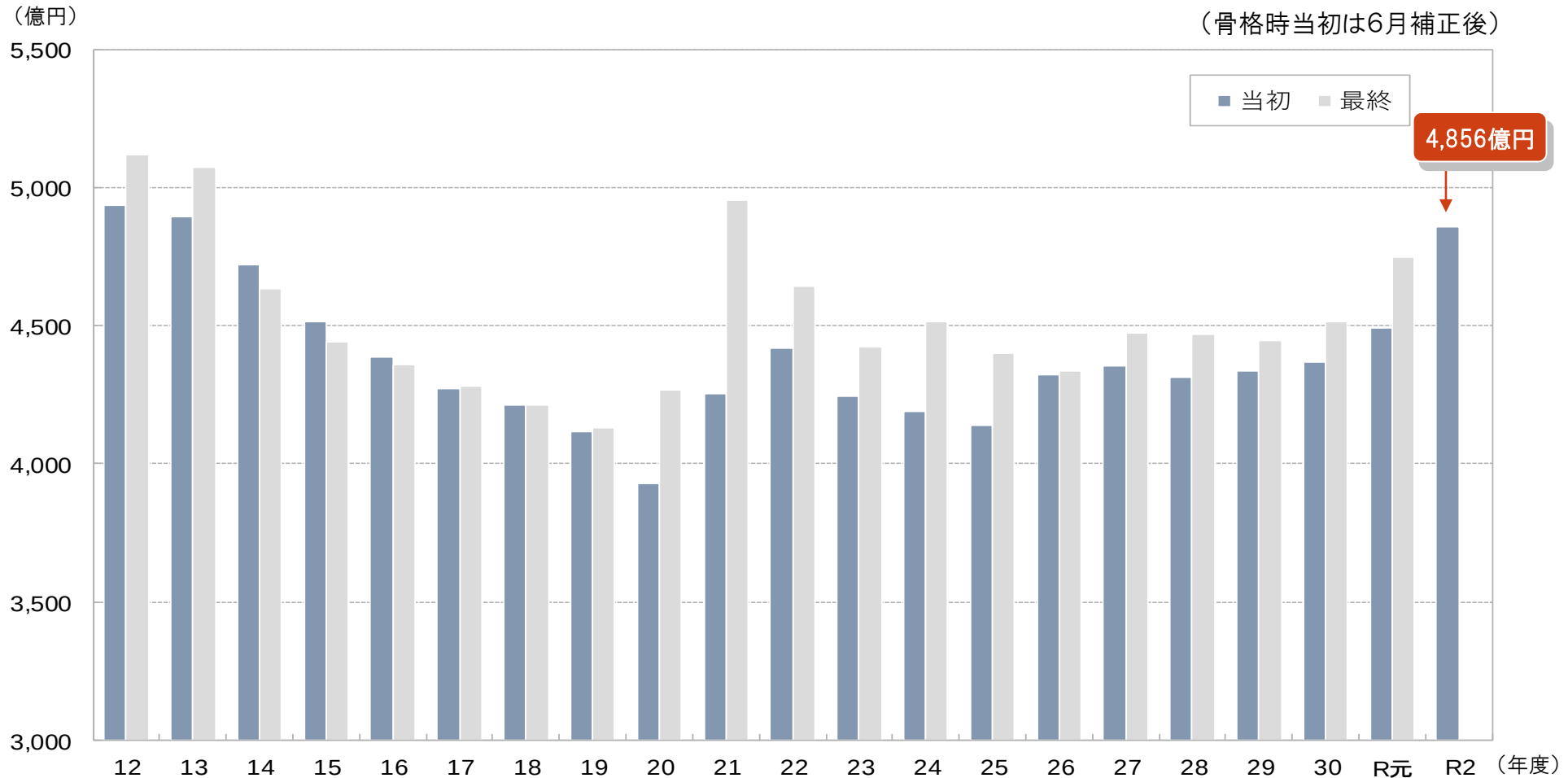


II

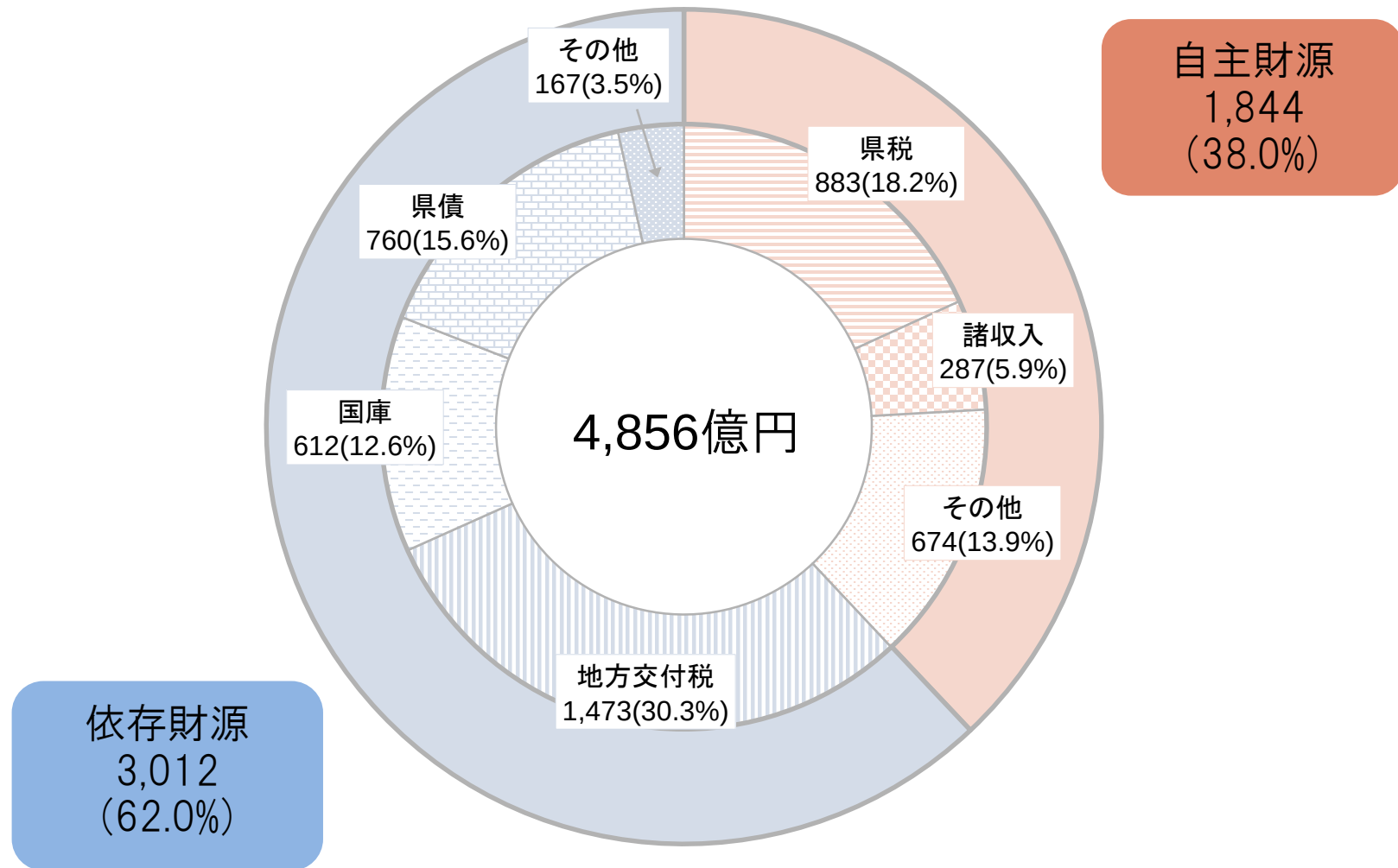
令和2年度一般会計予算の概要

予算規模の推移

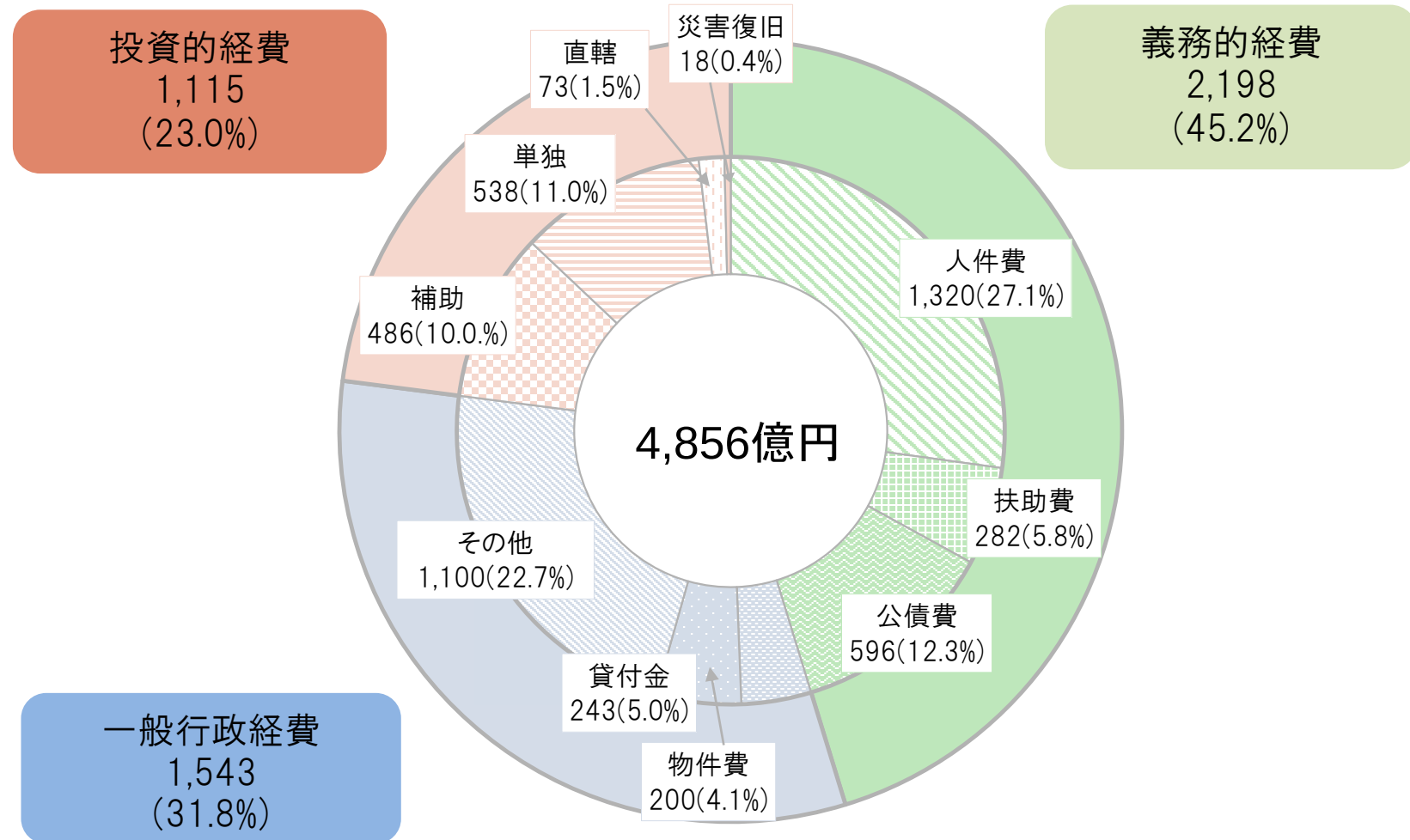
- 令和2年度予算は、SAGAサンライズ整備事業はじめ大型事業等の増加に伴い、昨年度当初予算と比較して8.2%の増となっています。



歳入予算の概況



歳出予算の概況(性質別)





公営企業等の状況

令和元年度決算に係る公営企業会計の財務状況

公営企業（病院事業、工業用水道、産業用地、港湾整備）は、資金不足は生じておらず、健全な経営状況となっています。

（単位：百万円）

会計名	総収入 A	総費用 B	純損益 C (A-B)	資金 剰余額 (不足額)	他会計 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高
佐賀県医療センター好生館 貸付金特別会計	12	12	0	0		612
佐賀県工業用水道 事業会計	373	360	13	2,058		
佐賀県港湾整備 事業特別会計	267	140	570	553		3,151
佐賀県産業用地 造成事業特別会計	336	28	107	1,677		115

※R元決算における数値

※佐賀県立医療センター好生館貸付金特別会計は、公営企業会計分のみ記載（普通企業会計分は除く）

公社・第三セクターの財務状況

公社の状況

土地開発公社及び道路公社は、健全に運営されています。

(単位:百万円)

		土地開発公社			道路公社		
		H29	H30	R元	H29	H30	R元
貸借対照表							
資 産		1, 6 7 1	1, 6 8 2	1, 6 9 3	2 8, 2 1 5	2 8, 2 4 0	2 8, 3 9 4
負 債		4 2	4 2	4 4	1 8, 3 2 5	1 8, 3 5 0	1 8, 5 0 4
資 本		1, 6 3 0	1, 6 4 0	1, 6 4 9	9, 8 9 0	9, 8 9 0	9, 8 9 0
損益計算書							
経常損益		7	1 0	9	6 2 0	7 0 2	6 8 6
当期損益			1 0	9	6 2 0	7 0 2	6 8 6

第三セクターの状況

第三セクターについては、半数以上の団体の運営状況は特段問題ありませんが、一部、赤字団体においては、事業の見直しや経営改善に向けた取り組みが進められており、県としても必要な関与をしています。

(単位:百万円)

	経常損益	純資産又は正味資産	県からの出資金	県からの補助金
全団体 (27団体)	8 1 6	4 1, 9 9 1	1 5, 4 1 3	3, 1 5 2
赤字団体 (9団体)	△ 6 0	3, 5 0 4	9 1 2	6 4 0

※総出資額に占める佐賀県からの出資割合が25%以上の団体について集計

IV

地方公会計に基づく財務諸表の状況

■ 平成30年度決算に係る貸借対照表

- 資産はインフラ資産に係る減価償却累計額の増加等により、前年度と比較し約243億円の減少となっています。
- 負債は退職手当引当金、地方債の減等により、前年度と比較し約160億円の減少となっています。

(単位:百万円)

科 目	金 額			科 目	金 額		
	H29年度	H30年度	増 減		H29年度	H30年度	増 減
【資産の部】				【負債の部】	836,464	820,475	△15,989
固定資産	1,550,184	1,524,194	△25,990	固定負債	762,164	747,622	△14,542
有形固定資産	1,443,369	1,422,448	△20,921	地方債	643,605	638,958	△4,647
事業用資産	194,809	194,136	△673	退職手当引当金	114,018	105,216	△8,802
土地	102,454	102,392	△62	損失補償等引当金	766	557	△209
建物	77,729	71,629	△6,100	その他	3,775	2,891	△884
工作物	9,158	9,409	251				
その他	5,468	10,706	5,238	流動負債	74,300	72,853	△1,447
インフラ資産	1,236,746	1,217,025	△19,721	1年以内償還予定地方債	61,075	60,020	△1,055
土地	322,382	322,382	0	未払金	1,235	953	△282
建物	1,818	1,749	△69	賞与等引当金	8,461	8,834	373
工作物	897,288	862,028	△35,260	預り金	3,373	2,880	△493
その他	15,258	30,867	15,609	その他	156	166	10
物品	11,814	11,288	△526				
無形固定資産	1,100	711	△389	【純資産の部】	746,713	738,368	△8,345
投資その他の資産	105,715	101,035	△4,680	固定資産等形成分	1,570,305	1,545,507	△24,798
投資及び出資金	21,227	21,033	△194	余剰分(不足分)	△823,592	△807,139	16,453
長期延滞債権	3,233	3,140	△93				
長期貸付金	26,166	22,976	△3,190				
基金	54,448	53,242	△1,206				
その他	737	731	△6				
徴収不能引当金	△97	△87	10				
流動資産	32,993	34,649	1,656				
現金預金	12,254	12,779	525				
短期貸付金	4,364	5,522	1,158				
基金	15,757	15,791	34				
その他	618	557	△61				
資産合計	1,583,177	1,558,843	△24,334	負債及び純資産合計	1,583,177	1,558,843	△24,334

※四捨五入の関係で合計額が一致しない場合があります。

※事業用資産及びインフラ資産の「建物」「工作物」「その他」並びに物品は、減価償却累計額控除後の額です。

**健全な財政状況を維持している
佐賀県の県債です。
ぜひ、ご購入ください。**

お問い合わせ先

佐賀県 総務部 財政課 公債担当

〒840-8570 佐賀県 佐賀市 城内 1-1-59

TEL : 0952-25-7013 FAX : 0952-25-7292

✉ zaisei@pref.saga.lg.jp